

平成30年度 岐阜大学 公開講座

先端を行く 連合創薬医療情報研究科

United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences, Gifu University

テーマ
難病へのアプローチ最前線

受講料
無料

日時
12/14 金
2018

[受付]12:30より(開始13:00)

会場
岐阜大学
サテライトキャンパス
多目的講義室

岐阜市吉野町6丁目31番地
岐阜スカイウイング37 東棟4階
(JR岐阜駅より徒歩5分)

対象 一般市民・教員・大学生・高校生等

募集人員 100名

岐阜大学大学院
連合創薬医療情報研究科

プログラム

13:00 ● 開会の辞 岐阜薬科大学長 稲垣 隆司

13:05~14:35 ● 第1部 診断・治療アプローチ

- 臨床現場はどう変わったのか? 1遺伝子診断から全ゲノム解析へ
深尾 敏幸 岐阜大学教授(医学系研究科小児病態学、附属病院遺伝子診療部)
- 体の中の金属はなにをしているのか? 鉄の功罪:酸化ストレスと疾患解明へ
平山 祐 岐阜薬科大学准教授(創薬化学大講座薬化学)
- 不治の病はいつまで不治か? 脊髄性筋萎縮症の過去・現在・未来
加藤 善一郎 岐阜大学教授(連合創薬医療情報研究科、医学系研究科小児病態学)

14:35~14:55 ● 休憩・関連展示閲覧

14:55~15:55 ● 第2部 医療情報アプローチ

- 新薬を使うためには何が必要か? がん医薬:製薬企業の開発戦略に迫る
塚本 桂 岐阜薬科大学教授(グローバルレギュラトリーサイエンス)
- 発売された薬は安全か? ビッグデータ時代のリアルワールド検証
一宮 尚志 岐阜大学准教授(医学系研究科医療情報学、連合創薬医療情報研究科)

15:55~16:15 ● 休憩・関連展示閲覧

16:15~17:15 ● 第3部 特別講演:テーマ「薬剤開発の最前線」

- iPS・幹細胞でなにが変わったか? 薬効解析の成果と展望
原 英彰 岐阜薬科大学副学長・教授(薬効解析学)

17:15 ● 閉会の辞 岐阜大学大学院医学系研究科長 岩間 亨

申込み方法 配布資料を準備いたしますので、事前申込の場合は参加人数をお知らせください。(renso@gifu-u.ac.jp)
(当日参加も可) ※ご参加に際し、何らかの支援が必要な場合は早めにお知らせください。
(各種情報保障サービスが必要な場合は1か月前までにお知らせください。)

申込・問合せ先 〒501-1194 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学医学部連合創薬係
TEL:058-230-7602 FAX:058-230-7604
E-mail:renso@gifu-u.ac.jp

主催 / 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
本公開講座は大学院医学先端セミナーとして認定されています

共催 / 岐阜薬科大学